



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

…つばやきサロン…

アラシータと福の神

私が青年海外協力隊員として派遣されていたボリビアの首都ラ・パスでは、毎年1月24日からカルナバル（謝肉祭）の前頃まで「アラシータ」という縁日のようなお祭りが開かれる。アラシータはボリビアの先住民族アイマラ族の行事で、ラ・パスの老若男女が1年間ずっと楽しみにしているお祭りのひとつである。

このアラシータの主演とも言えるのが「エケコ人形」と様々なミニチュアである。エケコ人形とは少々小太りしたチョコビひげのおっちゃんの人形で、アンデス風の耳あて付きニット帽をかぶり、口には彼が大好きだと言うタバコがくわえられるよう穴が開いている。実はエケコ人形は福の神で、自分が欲しいと思うミニチュアを彼の体にくくり付け、タバコを与え願掛けをすればそれらの物が手に入る、というのだ。

ミニチュアは「ボリビアで売られている物なら何でもある」と言うほど、家や車、穀物袋、缶詰、靴や旅行鞆・・・とかくどんな物だってある。そしてこれが実に良く出来ている。ちっちゃくって可愛くて子どもの頃のおままごとを思い出す。子どもたちもこのアラシータが大好きだ。

私はビデオカメラやパソコン、ユーロやドル紙幣などなどを買ってエケコのおっちゃんに願掛けしてみた。今考えればボランティアでボリビアに行っているとは思えないような願いばかりである。

しかし私のエケコはタバコを吸わせていなかったせいか、はたまた日頃の行いのせいか、私の願いは何ひとつ叶えてくれなかった。

そして私はエケコのおっちゃんと共に帰国した。彼を見るといつも思い出す。アラシータの縁日の喧噪、呪術師の燻す香のにおい、「お金あげる」とミニチュアの100ドル札をくれたボリビアの子どもたち・・・

本当は大切なものを沢山私にくれたのかもしれない。

JICA国際協力推進員（北九州） 橋口恵利子



エケコのおっちゃん

平成21年度 NPO市民講演会



～NPO法成立10年～

これまでの市民活動、これからの市民活動

○日時：11月11日（水）14:00～16:00
於 北九州市立男女共同参画センター “ムーブ”
5階 大セミナールーム

○講師：特定非営利活動法人
シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
事務局長 松原 明氏

NPO法は今年で11年目を迎えました。当初、市民活動で目標にされてきたことは3つあります。それは、NPO法、認定NPO法人制度の創設、そして情報公開です。制度づくりは困難が多かったものの、順調に整備されてきました。この時間の経過とともにNPOに対する社会の意識は大きく変化しています。例えば10年前はNPOに就職することなど考えられませんでした。しかし、今では国民の8割が市民活動が必要と思っており、社会貢献的な仕事に就きたいと、NPOも就職先の1つと考えられています。これから10年経てば、NPOの社会での位置づけはより変化していくでしょう。

現在、NPO法人数は全国で38,000団体あります。その中で認定NPO法人はわずか108団体です。これは全体の0.03%にも満たない状況です。今後の課題は、認定NPO法人の要件をさらに緩和することです。

実際、NPO法人の多くは経営がうまくいっていません。原因は活動資金と人材の不足です。これは、少ない資金で活動に集中する為、協力者・参加者への対応がおろそかになり、ますます少ない資金になるという、いわゆるNPOの経営の悪循環を起している状態だからです。認定NPO法人の要件を緩和すれば、認定NPO法人が増え、企業や個人がお金を寄付しやすくなります。すると、NPO法人の活動資金が増え、活発に活動を行うことができます。そして、その活動を見てNPO法人に対する必要性が高まり、寄付が増えるという善循環を生み出すことができます。この善循環を私たちは創り出そうと考えています。

これを解決するには、今から先の社会のトレンドをおさえるNPOの経営が必要です。5つの大きなトレンドは①市民のNPOへの参加・寄付意義の増進②行政のNPOとの協働、NPOへの委託事業の拡大③企業CSR・社会貢献活動の拡大④政治の「新しい公共」の重要性の認識⑤市民参加のさまざまな仕組みの整備であり、これからはこれらのトレンドに注目していくべきです。

また、市民活動・NPOの大きな使命は「参加と協働のための仕組みづくり」であるといえます。一つの例をあげると、あるNPO法人は埼玉県と協働して「お父さんのやきいもタイム」という事業を行っています。子育て中の家庭では、地域とのつながりがお母さんに比べ、お父さんの方が疎遠になっているケースが多く、また、地域活動に参加したいお父さんがいても実際にどう行動を起せばいいのか分からないことが多いです。そこでできたのが、お父さんにやきいもを作る仕事を与え、活躍してもらうという事業です。これにより、お父さんには自然と地域の交流に参加する役割が与えられ、参加しやすくなりました。また、この事業の芽は地域の生協からの無償提供だったり、PTAとの協力が必要であったりと地域の交流が必要不可欠です。最初は50ヶ所で開催されていましたが、今では100ヶ所で開催され、参加者人数は7,000名にのぼっています。その中で何かあれば助け合える、何かあれば相談できる、という地域の力を自然と作っていくことができました。NPOにはこうした善循環を作る事業と安定した経営力が求められます。

NPO・市民活動の使命とは、「参加と協働のための仕組みづくり」を創出し、それぞれのテーマにかかわる人々のつながり・コミュニティを育てていくことです。その結果、地域と社会が豊かになります。NPO・市民活動の将来は明るい展望します。

（文責：北九州市市民活動サポートセンター）



イベント情報

◆子育て中のママ*パパのための コミュニケーションセミナー全4回

子育て中の今だから！まわりの人たちとのコミュニケーションの大切さをみつめてみませんか？

日時：2月9日～3月2日 毎週火曜日
10：00～12：00

会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
小セミナールーム

参加費：1回500円

託児：先着15名 全回参加できる方優先14名
※締切2月1日（月）
（託児料200円 オムツ代100円）

主催・問合せ・申込先：
NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画
TEL070-5532-5082
Eメール haru2020@jcom.home.jp

◆NPO法人設立基礎講座 全2回

NPO法人を設立する場合の申請手続きや設立後の運営について学びます。

日時：1月19日（火）・1月26日（火）

昼の部13：30～15：30

夜の部18：30～20：30

場所：北九州市市民活動サポートセンター
北九州市男女共同参画センター“ムーブ”1階

講師：市民活動サポートセンター専門相談員
NPO法人スポーツウエイヴ代表理事
内田 満氏

定員：昼・夜の部 各20名（先着順）

内容：第1回「自分たちで設立しよう！」

第2回「自分たちで運営しよう！」

主催：北九州市市民活動サポートセンター

申込先：市民活動サポートセンターへ
電話・FAX・Eメールでお申込下さい。

助成金情報

★第18回 「住まいとコミュニティづくり活動助成」

市民主体の住まいとコミュニティづくりを支援
営利を目的としない民間団体を対象に助成します。

★助成金額：

一般助成 1件あたり最大100万円

特別助成 1件あたり各年度最大100万円
（原則2年間）

★締め切り：1月15日（金）必着

★（財）ハウジングアンドコミュニティ財団

〒107-0052

東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階

TEL03-3586-4869

FAX03-3586-3823

<http://www.hc-zaidan.or.jp/>



★平成22年度国際化推進活動助成金

県内の草の根交流として民間団体が行う国際協力・多文化交流等の活動を支援するため、その活動に要する経費の一部を助成します。

★助成対象活動：（1）国際交流・国際協力事業
（2）海外技術協力事業

★助成金額：1件当たりの助成金額は助成対象経費の
1/2以内の額で30万円を上限とする

★第1期応募期間：1月4日（月）～1月31日（日）
※持参に限ります。

★（財）福岡県国際交流センター

〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1

アクロス福岡3階 こくさいひろば

TEL092-725-9200

FAX092-725-9206

http://www.kokusaihiroba.or.jp/j00top/shien/joseikin/joseikin_9.htm

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. ボランティアって無償が原則ではないのですか？有償ボランティアはボランティアなの？

A. 日本ではもともとボランティアは無償のものでありました。無償というのはどこまでを含むものなのか、といった点をめぐってかつて論争がありました。たとえば交通費や弁当なども「有償」とみなし、一切を手弁当（自己負担）で行うべきと考える意見もありましたが、実費弁償は無償性に関係はないとする見解が一般的です。ボランティアという言葉はもともと「volunteer」という英単語であり、それは「志願者、義勇兵、自発的」という意味であり、「無償である」という意味を含まないことから、「有償」「無償」を区別することに意味はない、とする考え方もあります。一方、有償ボランティアはボランティアに含まず独立した言葉とした上で、ボランティアと同等に取り扱うとする考え方もあります。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年10月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	36,821	35,535	444
【福岡県】	1,330	1,299	1
内閣府	3,287	3,079	131
全国計	40,108	38,614	575

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年11月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	288	248	—



サポートセンタースタッフが ボランティアリーダー研修に行ってきました！！



講師：NPO法人
日本ボランティアコーディネーター協会
運営委員長 加留部貴行さん

去る10月29日（木）・11月12日（木）の2日間の休館日を利用して、ウェルとばたで開催された「ボランティアリーダー研修」に行ってきました。

ボランティアグループや地域で活動するリーダー、または活動者のみなさんが、ボランティアとしての資質向上を図るために、グループ運営・リーダーシップなどについて学びました。

貿易ゲームというグループワークでは、リーダーやその他のメンバーの資質を生かし、チームをつくるということや、また、2人組みのペアワークでは「聴く」、「話す」コツをつかみ、対話を通じた「共感」と「支援」を学びました。アイスブレイクを交えた加留部さんの軽快なトークで、楽しく有意義な2日間でした。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応 …月～土曜日 17:00～21:00
祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日 《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】12月24日（木）

【年末・年始の休み】12月29日（火）～1月3日（日）

編集後記

読み聞かせの絵本を選ぶ時、できるだけその季節にあったものを選びようとしています。

季節の移ろいを、絵本を通して子ども達と一緒に味わうことは、忙しい日々の中でのちょっとした楽しみの一つです。

この季節に選ぶのは、もちろんクリスマス絵本。書店の店頭には大人もワクワクするような素敵な絵本がたくさん並んでいます。

サンタを信じている子にも、信じていない子にも、朝のひと時、ちょっぴりワクワクする夢の世界を届けられたらと思っています。

by 